

## 会 議 録

□全部記録 ■要点記録

<b>1 会議名</b>	第18回 姫路市地域公共交通会議
<b>2 開催日時</b>	令和2年 2月12日（水曜日） 10時00分～11時30分
<b>3 開催場所</b>	姫路市役所 北別館4階 403会議室
<b>4 出席者名</b>	出席者 委員 浅田敦之、井上俊行、岩田稔恵、大野幸一、奥西良行、河内泰敏、喜多信夫、正司健一、宅見晋一、竹内宏、土谷穰、中川吉郎、原辰幸、早川泰正、藤原信一、松田智、三輪徹、妻鹿幸二、山口正樹、山田賢一 以上20名（50音順 敬称略） 事務局（交通計画室） 植田室長、池内主幹、梅田係長、松本係長、菊本係長、苅山係長、谷口主任
<b>5 傍聴の可否及び傍聴人数</b>	傍聴可、傍聴人0名
<b>6 議題</b>	「姫路市総合交通計画の改訂について」（資料1） 【報告事項】 「地域公共交通会議陸運分科会審査事項について」
<b>7 会議の全部内容又は進行記録</b>	詳細については別紙参照

司 会	<p>ただ今より「第18回姫路市地域公共交通会議」を開催いたします。</p> <p>本会の開催にあたりましては「姫路市地域公共交通会議規則」第6条第2項の規定により、過半数以上の出席が必要とされております。</p> <p>本日は委員22名中、20名の出席をいただいておりますので、会議が成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>なお、本会議は「姫路市附属機関等の会議の公開に関する指針」に則り、公開とさせていただくこととなっておりますので、ご了解いただきますようお願いいたします。</p> <p><b>【配付資料確認】</b></p>
司 会	<p>それでは、ただ今からの議事進行につきましては、会長にお任せします。</p> <p>会長、よろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>それでは会議次第「2 審議事項」の「姫路市総合交通計画の改訂について」、事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p><b>【事務局説明】</b></p> <p>（議題1）「姫路市総合交通計画の改訂について」</p>
会 長	<p>ただ今の事務局からの説明について意見等、何かございますか。</p>
委 員	<p>資料1の26ページにあるように、姫路市北部、主に林田以北、夢前町、香寺町、安富町は公共交通空白地が残っている。また、アンケート結果も拝見したが、発言が出来る状態の人の意見が主で、本当に困っている高齢者などの意見が反映されていないのではないか。デマンド型のバスやタクシーの交通体系を構築されているが、生活弱者を救済できるように、さらにきめ細かい交通体系を再構築する必要があるのではないか。そうでなければ、姫路市中心部の活性化にしかならず、地域が急速に疲弊する現象が起こる。</p> <p>特に、高齢者や障害者といった生活弱者を対象として、1日1回買物や通院ができるような交通体系の構築をお願いします。</p>

事務局	<p>高齢者や障害者などの交通弱者に対して、これまで福祉施策や観光施策として公共交通サービスを提供してきた。それらの全てを網羅する形で、総合交通計画において公共交通サービスをどのように盛り込んでいくのかを今後、議論していきたいと考えている。</p> <p>現行計画においても、本編 75 ページにあるように、姫路市内 10 地域が公共交通空白地・不便地域となっており、現在様々な取り組みを行っている。</p> <p>一部地域ではデマンド型乗合タクシーを実施し、自動車が利用できない方を救済する事業の展開を考えているが、十分とはいえない状況のため、引き続き様々な施策に取り組み、積極的に事業を推進していきたいと考えている。</p>
会長	<p>前回の計画では、生活面のところはあまり議論が深まらなかったが、今回は考える必要がある。</p> <p>その際には「シビルミニマム」をどう考えるのかという議論が今後必要となってくる一方で、限られた予算をどう使うのかという視点も必要であり、その 2 つのバランスをどう取るのかを考える必要がある。</p>
委員	<p>資料 1 の 56 ページ「姫路市の交通の現況と課題」の右部分の上から三番目に「姫路駅一極集中型の交通体系」を課題として記載しているが、駅前・中心市街地に接続する交通体系は一定の成果であり、この項目が課題というわけではなく、それを補完するラストマイル交通の整備が課題なのではないか。</p> <p>また、上から 5 つ目の「自動車に頼った交通体系」は、どちらかというとも市民の生活スタイルといった、意識的なところが課題なのではないか。</p>
事務局	<p>先程ご指摘いただいた「姫路駅一極集中型の交通体系」は、決して悪いという意味で課題に挙げたのではない。移動ニーズは、確かに姫路駅から地区外への移動が高くなっているが、今回実施した市民アンケート調査結果などから、移動のニーズが姫路駅の他に臨海部や医療施設、商業施設などにも見られ、また、郊外部同士や郊外部から他地区への移動も多く見られている。そのため、市民のニーズを見据えた形での交通体系の構築を課題として挙げている。</p> <p>「自動車に頼った交通体系」については、夢前町や安富町など郊外部において公共交通を使いたくても使えない方が多数おり、自動車に頼らざるを得ない</p>

会 長	<p>状況を課題として挙げている。</p> <p>「交通体系」という言葉があり、専門家は広く漠然とした意味で使用するが、市民としては道路ネットワークや公共交通網を思い浮かべ、両者で認識が異なるため、市民に向けた計画であることを踏まえると、「体系」という言葉を限定的に使い、表現の仕方を考える必要がある。</p> <p>また、総合交通計画だけで考えるのではなく、総合計画との整合性を図る必要がある。新しい総合計画はまだ公表されていないが、おそらくコンパクト・プラス・ネットワークのような、中心部を活性化することで市全体が活性化するという形になっているのではないかと。そうであれば、「姫路駅一極集中型の交通体系」をそのまま課題としていると明らかに矛盾する。課題の文言を変更する必要がある。</p>
委 員	<p>資料1の1ページの目的に記載されている「交通環境が大きく変化しようとしている」は、後のページに示されている自動運転を指しているのではないかとと思われるが、代表的な例示を文章の前に入れた方が、市民にとって分かりやすいのではないかと。</p> <p>資料1の15ページ「姫路市役所ノーマイカーデー取組状況」の職員数が、2008年と2009年度を比較すると、1桁数字が少なくなっている。もし、この要因が分かるのであれば、注意書きで記載しておいた方がよいのではないかと。</p> <p>資料1の17ページの大手前通りのトランジットモール化は全国的にも先進的な取組であるため、事業の詳細や評価、また今後どう生かしていくかを強調して記載したほうがよいのではないかと。</p> <p>資料1の38ページ及び40ページの自動運転技術に対する県の取組事例を挙げられているが、「西播磨テクノポリス」ではなく「播磨科学公園都市」という表現に変更した方が、市民にとって分かりやすいのではないかと。</p> <p>また、アンケート調査結果は姫路市総合交通計画の策定にあたって、計画に反映させていく予定なのか。</p>
事 務 局	<p>まず、資料1の1ページ「交通環境が大きく変化しようとしている」は、ご指摘通り、自動運転化を国が積極的に進めているということ、また、M a a S</p>

<p>委 員</p> <p>事 務 局</p>	<p>といったシームレスに利用する機能など、進化している通信機能を有効に活用し、交通を形成していくことを示している。今後 10 年でどこまで技術が進歩するかはわからないが、公共交通空白地への自動運転車両の導入なども見据えながら計画の策定を行っていく。記載の方法については、ご指摘通り、詳しくさせていただきます。予定である。</p> <p>資料 1 の 15 ページ「ノーマイカーデー取組状況」の資料の見方については、2009 年度以降は毎月取組を実施しており、表中の職員数は延べ人数で記載している。そのため、延べ人数であることが分かるように表記を行う。</p> <p>資料 1 の 17 ページは、大手前通りのトランジットモール化についてももう少し詳しく記載する。</p> <p>資料 1 の 38 ページ以降の「西播磨テクノポリス」については、ご指摘の通り「播磨科学公園都市」に統一する。</p> <p>アンケート結果については、分析して今後の方針に反映させたいと考えている。</p> <p>資料 1 の 34 ページ「姫路市民の交通手段分担率の推移」で、1980 年から 2010 年にかけて自動車利用だけが倍になっている。その要因は何か。また、現在は 2020 年でこのグラフのデータは 2010 年であるため、概ね 10 年以上経過しているが、2010 年以降がどのように変化しているかを教えてほしい。</p> <p>交通手段分担率については、30 年前からの経済成長とともに女性の社会進出の増加、高齢者などの免許保有者の増加等の要因により、身近に自動車を活用できるようになったと考えている。</p> <p>参考で平成 27 年に実施されている全国都市交通特性調査結果を紹介すると、1987 年では平日の自動車分担率が 34%だったものが、2015 年では 45%に拡大しており、本市の傾向と同様となっている。しかし、2010 年の平日の自動車分担率は 45.7%であり、2010 年から 2015 年ではほぼ横ばいとなっており、本市においても、2010 年以降はほぼ横ばいで推移しているのではないかと推測される。</p> <p>また、2020 年度には近畿圏で大規模なパーソントリップ調査が実施される予定となっており、その分析結果も見ながら自動車分担率については比較を行っ</p>
-------------------------	---

<p>会 長</p>	<p>ていきたいと考えている。</p> <p>一般的な傾向として、2000年頃から自動車利用は伸び悩み、三大都市圏のうち、特に大阪圏と東京圏では減少し始めている。</p> <p>以前は自動車が使えない、もしくは使いづらい環境だったものが、道路の新設などにより使いやすく便利になったのが影響しているとも考えられる。</p> <p>また、交通手段分担率を見ると「徒歩」の減少も見られる。これは、歩けなくなったのではなく、街が歩きにくくなったことによるものと考えられ、コンパクト化などの議論に繋がっていくと思われる。歩けなくなった街が果たして将来的に楽しい街になるのかということも、今後交通面からも議論しなければならないと思う。</p> <p>また、交通手段分担率に2000年のデータも追加した方がよいのではないか。</p>
<p>委 員</p>	<p>資料1の19ページ「路線別乗車人員の推移」は、JR姫路駅が最も多くなっているが、これは山陽本線、姫新線、播但線を分けることができない理由から路線の合計となっているのか。</p> <p>資料1の33ページ「姫路市の自動車保有台数と自動車保有率の推移」で、自動車保有率が2010年で減少している要因は何かあるのか。</p> <p>資料1の37ページは、免許返納者数は増加傾向にあると説明があったが、グラフでは「姫路運転免許更新センターの開所により、同一条件でのデータ収集が不可となっている」とあるが、同一条件とはどういうことか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>資料1の19ページ「路線別乗車人員の推移」については、各路線を合計したものを姫路駅の1日の乗降者としている。</p> <p>資料1の33ページにある、自動車保有率が2010年のみ極端に低いことについては、大きな要因となる事案が見られなかったため、データの指標の取り方に変化があったのか詳しく調べていく。</p> <p>資料1の37ページ「免許返納者数」のデータについては、姫路市内の警察署よりデータを提供いただいた。</p> <p>以前は管内の警察署でしか返納できなかったが、2016年に姫路運転免許更新センターが開所されたことにより、運転免許証を返納できるエリアが拡大し、</p>

会 長	<p>市外からの返納受付も行えるようになったと聞いている。その結果、市民のみの免許返納者数を正確に集計することが難しくなり、2016年以降は姫路市内各警察署窓口で免許返納した件数のみとなっているため、このような表現としている。</p>
事 務 局	<p>Ma a Sについては、総合交通計画で触れておいた方がよいのではないかと。 資料1の49ページ「中心商店街の歩行者数」について、今回の計画では中心商店街の歩行者数を意識して全体のネットワークの議論も考えなければならない。</p> <p>また、ノーマイカーデーについて、取組人数が減少しているのは問題であると思う。</p>
委 員	<p>資料1の49ページ「中心商店街の歩行者数」は、年度により歩行者通行量観測地点が変化していることから、毎年同じ地点で観測している主要7地点での歩行者数を記載している。</p> <p>参考だが、駅北中心商店街の通行者数は、2018年度で30万6千人、2017年で28万4千人であり、姫路駅周辺が整備されたこともあって、街を訪れる歩行者数は増加している。</p> <p>しかし、例えば大手前通りばかりが増加して、御幸通りや小溝筋は少ないのではないかといった意見もいただいております、そこも検証しながら姫路駅前については取り組んでいきたいと考えている。</p>
委 員	<p>商店街について、皆様ご存知の通り、中心部のヤマトヤシキ、大型店舗、ロードサイド店の閉店や、郊外に大規模商業施設ができたことによって、中心部の魅力が若干下がってきている。</p> <p>現在は映画館の新設など東西軸の開発が進んでおり、従来は南北の移動だったものが、東西にも分散してきている。そのため、7地点だけで中心市街地の歩行者数を測ることは若干の懸念がある。</p> <p>郊外部に大型商業施設ができたことにより歩行者が減少していることは確かだが、一概に中心部の魅力がなくなったのかということもそうともいえず、数字だけでは見えにくいものがあるのではないかと。</p>

会 長	<p>姫路市総合交通計画の改訂については、本日皆様からいただいた意見・要望を踏まえて作業を進めさせていただくことをご了承いただけますでしょうか。</p> <p>もし、何かお気づきの点がありましたら事務局へご連絡いただければ、検討させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、報告事項に移りたいと思います。</p> <p>事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p><b>【事務局説明】</b></p> <p>（報告1）「地域公共交通会議陸運分科会審査事項について」</p> <p>以上が1月24日開催の陸運分科会で審議され、認められた内容でございます。簡単ではありますが、承認されたことを報告いたします。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ご質問等何かございますか。</p>
会 長	<p>その他事項に移りたいと思います。</p> <p>何か情報提供等ございますか。</p>
委 員	<p><b>【委員より情報提供】</b></p> <p>「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律案について」</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>何かご質問等ございますか。</p> <p>他に何か情報提供等ございますか。</p>



事務局	<p>【事務局より情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・令和2年度地域公共交通会議 離島航路分科会開催スケジュールについて</li><li>・令和2年度以降、周辺市町との連携による広域的な地域公共交通網の形成に向けた検討協議を進めることについて</li></ul>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>情報提供、または全体を通じて、何かご質問等ございますか。</p> <p>それでは事務局に進行をお返しします。</p>
司 会	<p>委員の皆様におかれましては、熱心にご審議いただきましてありがとうございます。</p> <p>本日の審議結果に基づきまして、姫路市総合交通計画の改訂に向けた作業等を進めて参ります。</p> <p>それでは、以上をもちまして第18回姫路市地域公共交通会議を終了させていただきます。皆様のご協力によりまして、円滑に会議を進行することができました。</p> <p>本日は、誠にありがとうございました。</p>